



# 日中都市間連携大気環境改善協力 事業の江蘇における進捗状況

---

中国 江蘇省環境保護庁

2018年7月



## 主な内容

---

- 一. 江蘇省と福岡県の環境協力の回顧
- 二. 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況
- 三. 日中大気汚染防止協力の展望

# 一 江蘇省と福岡県の環境協力の回顧

友好都市環境協力の経緯

2014年より都市間連携大気環境改善協力を開始  
2017年VOCs技術交流会開催

環境協力の深化、実務化

2011年「環境保護友好交流協力協定」を締結

環境交流がさらにレベルアップ

2005年環境保護セミナーを共催  
2006年より環境交流研修生を派遣

環境協力スタート

1992年江蘇省と福岡県が友好都市を締結

友好連携の開始

# 一 江蘇省と福岡県の環境協力の回顧

実り多い協力の成果

## 「環境保護友好交流協力協定」



江蘇省から毎年福岡に研修生を派遣  
(今までに43名)

福岡県から不定期に江蘇に専門家を派遣

何度も環境保護セミナーと技術商談会を共催

福岡県が7年連続で江蘇省主催の国際環境保護新技術大会に企業を派遣

多面的重層的に人材・技術・産業交流協力を展開

## 一 江蘇省と福岡県の環境協力の回顧

### 江蘇省-福岡県

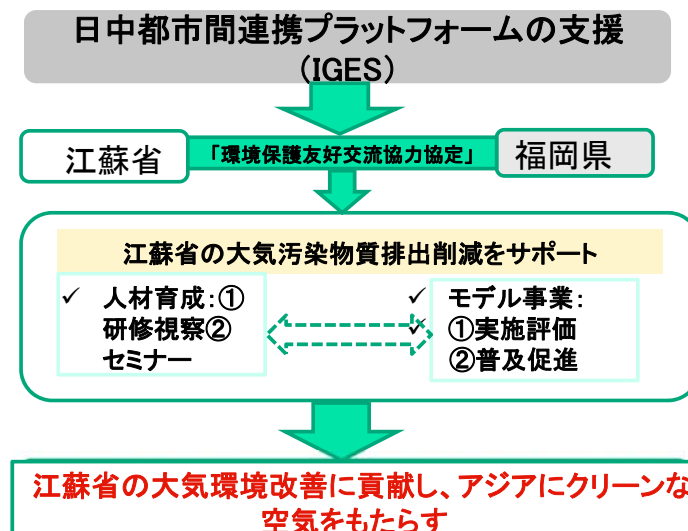
#### 友好都市関係締結25周年記念

- 2017年10月、江蘇省と福岡県の友好都市関係締結25周年に際し、両省県の環境部局が南京で日中VOCs政策とモニタリング技術交流会を開催。
- 江蘇省環境保護庁の于紅霞副庁長と福岡県環境部の関好孝部長が交流会に出席して挨拶した。
- 日中の代表計80余名が参加。



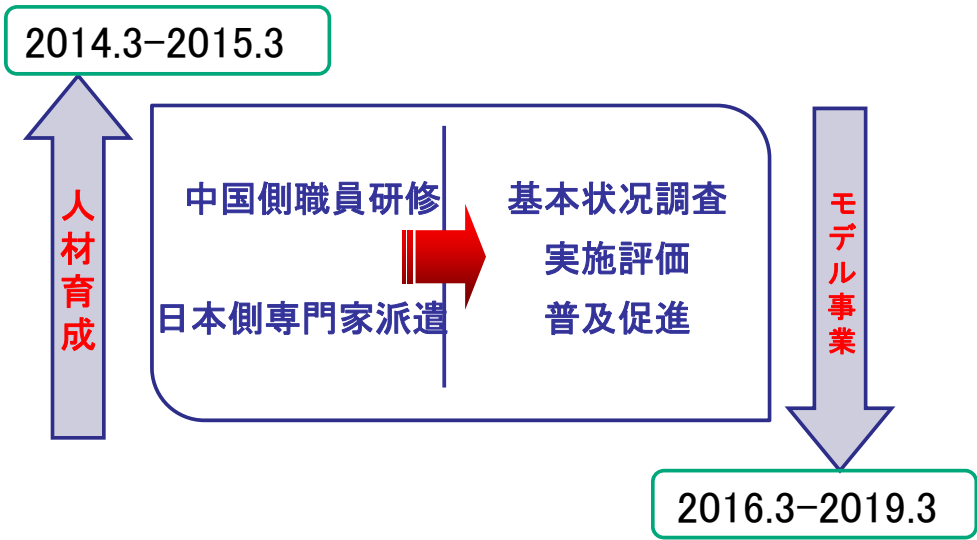
## 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

◆ 区域大気環境質の改善促進のために、2014年より江蘇省と福岡県は5年間の「日中都市間連携大気環境改善協力事業」を共同実施

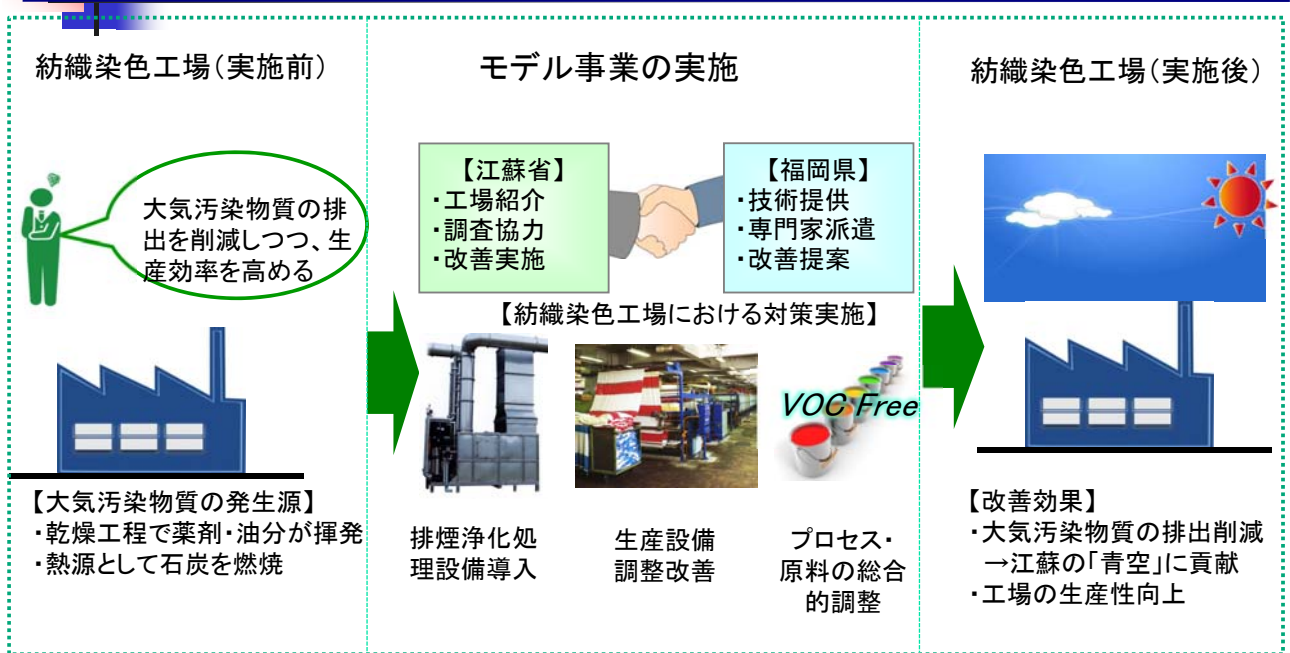


# 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

## ◆ モデル事業実施スケジュール



# 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況



## 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

### ◆モデル事業実施内容

#### Step1

##### ・江蘇省内で対象企業選定

- ✓ 日本側が技術専門家を派遣し、工場の生産の実情を調査(呉江、常熟)
- ✓ 中国側が行政と企業の責任者を派遣し、日本側の工場の状況を視察(常熟)

#### Step2

##### ・大気汚染物質処理方法の検討

- ✓ 日本側専門家が対策案を提出
- ✓ 中国と日本の政府と企業関係者が協議し、実施の可能性を検討
- ✓ 対策案の実行可能性を判断

#### Step3

##### ・実施、対策効果評価

- ✓ 対策実施
- ✓ 対策効果の評価
- ✓ 優秀モデル事例として普及を促進

## 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

### ◆ 評価業務の内容

#### 日中専門家評価委員会

#### 評価方法

・**評価対象**: 日本平野式テンター、中国天然ガス直燃式テンター、中国石炭ボイラー熱媒油式テンター; 日本KESMAK排煙浄化装置、中国電気集じん装置

・**評価条件**: 同等運転条件下の運転速度、乾燥温度、布の材質など

#### 評価内容

・**評価指標**: エネルギー使用量、CO<sub>2</sub>排出量、VOCs除去率・削減量・排出量、臭気濃度、SO<sub>2</sub>とNO<sub>x</sub>の排出削減量、設備の安全性、保守の容易さなど

・**評価基準**: 中国国家基準(モニタリング方法と排出基準)と浙江省地方基準(排出基準)

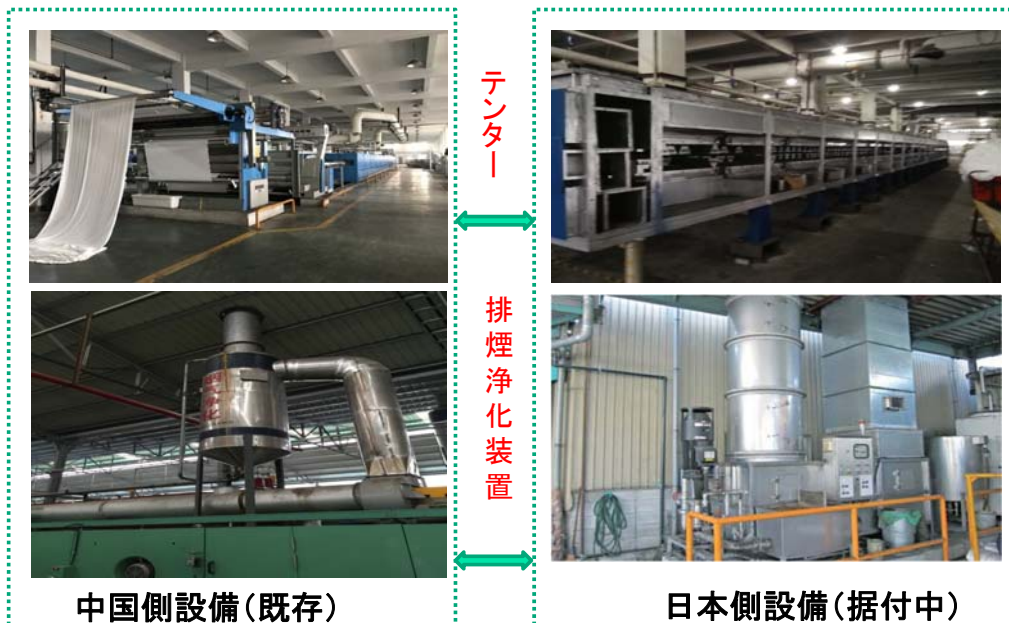
・**業務分担**: 日本側がエネルギー検査を担当し、中国側が環境検査を担当

・**評価報告**: 検査結果に基づき、評価報告を作成

#### 検査検証

## 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

### ◆ 日中技術設備対照図



## 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

### ◆ 2017～2018年の活動内容

- ◆ **2017年3月** 日中関係企業間で日本の省エネ高性能高品質技術の生産設備(テンター)3台と日本製の廃ガス処理設備1台を輸入することで合意
- ◆ **2017年5月** 日中双方がモデル事業の実施について協議し、モデル事業効果検証と評価に関する日中専門家会議を開催(第一次)
- ◆ **2017年9月** 日中双方がモデル事業の実施などについて協議(スケジュール調整)
- ◆ **2017年10月** モデル事業効果検証評価に関する日中専門家会議(第二次)を開催し、モデル事業の事前調査を実施(比較対象の旧式機種を選定など)
- ◆ **2017年12月** 日中双方がモデル事業の評価方法について協議(検査、分析などの具体的事項について協議)し、日中双方がモデル事業のエネルギーと環境検査を実施し、今後の計画を協議

## 二 日中協力紡織染色業大気汚染物質排出削減モデル事業概況

日本側専門家の現場視察



日中セミナー交流



中国側の設備現場検査

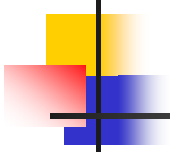


日中協力プロジェクトチーム



## 三 日中大気汚染防止協力の展望

- ◆ 1. 「日中紡織染色業汚染物質排出削減モデル事業」の成果を基礎に、当該業種の省内における需要と適用性を踏まえ、適時に普及を促進する
- ◆ 2. VOCs排出削減分野の協力意向
  - ✓ **工業源**: 重点業種(石油化学工業、電子、木材加工、工業塗装、印刷包装など)で日本側は先進設備を持っている
  - ✓ **移動源**: 自動車類車載蒸発ガス回収技術(ORVR)。陸上電源供給設備など、船舶排出規制関連の先進経験と設備
  - ✓ **面源**: 自動車整備業においては低(無)VOCs含有の塗料や吹付け塗装、乾燥などの工程における逸散排ガスの回収・処理などに関する先進経験と設備。建築用塗料では、低(無)VOCs含有の塗料の分野で先進的な経験や設備はあるだろうか？
  - ✓ **VOCs管理**: VOCs排出源インベントリ、発生源解析分野における先進経験と方法。VOCsモニタリング、早期警報と緊急対応体系。印刷包装など重点業種の汚染排出許可証管理経験



シエ シエ  
謝謝!

